



## はじめに



近年、気候変動等の影響により災害が激甚化・頻発化し、平成30年7月豪雨、令和元年東日本台風（台風第19号）、令和2年7月豪雨など、これまでの想定を超える災害が全国各地で生じています。

本市においても、平成30年度（2018年度）に発生した大阪府北部地震や台風第21号による家屋被害や広範囲にわたる停電を受け、同年度に「豊中市地域防災計画」を改正しました。また、令和元年度（2019年度）には「豊中市強靱化地域計画」を策定し、災害に強いまちづくりを進めています。

本ハザードマップは、これまで発行していた「浸水ハザードマップ」、「土砂災害ハザードマップ」に加え、大阪府が公表した高潮浸水想定区域図をもとに作成した「高潮ハザードマップ」のデータを統合し、「総合ハザードマップ」として作成したものです。

令和3年（2021年）5月に災害対策基本法が改正され、新たな避難情報の運用が始まっています。皆さまにおかれましては、本ハザードマップを活用し、お住まいや事業所のある地域で想定される災害リスクを改めて確認いただくとともに、家族やご近所の方等と話し合うことで、日頃の備えや、災害発生時の適切な避難行動につなげていただきますよう、お願い申し上げます。

令和3年（2021年）11月  
豊中市長 長内 繁樹

